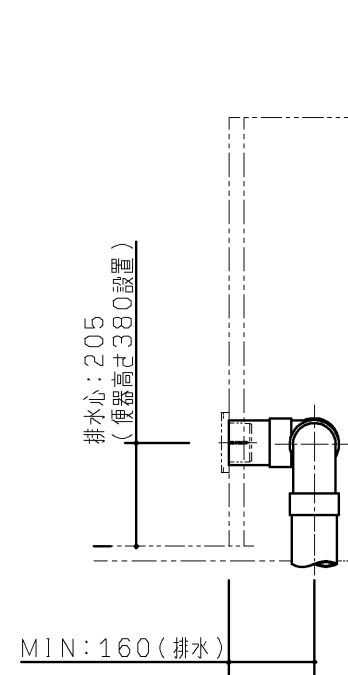
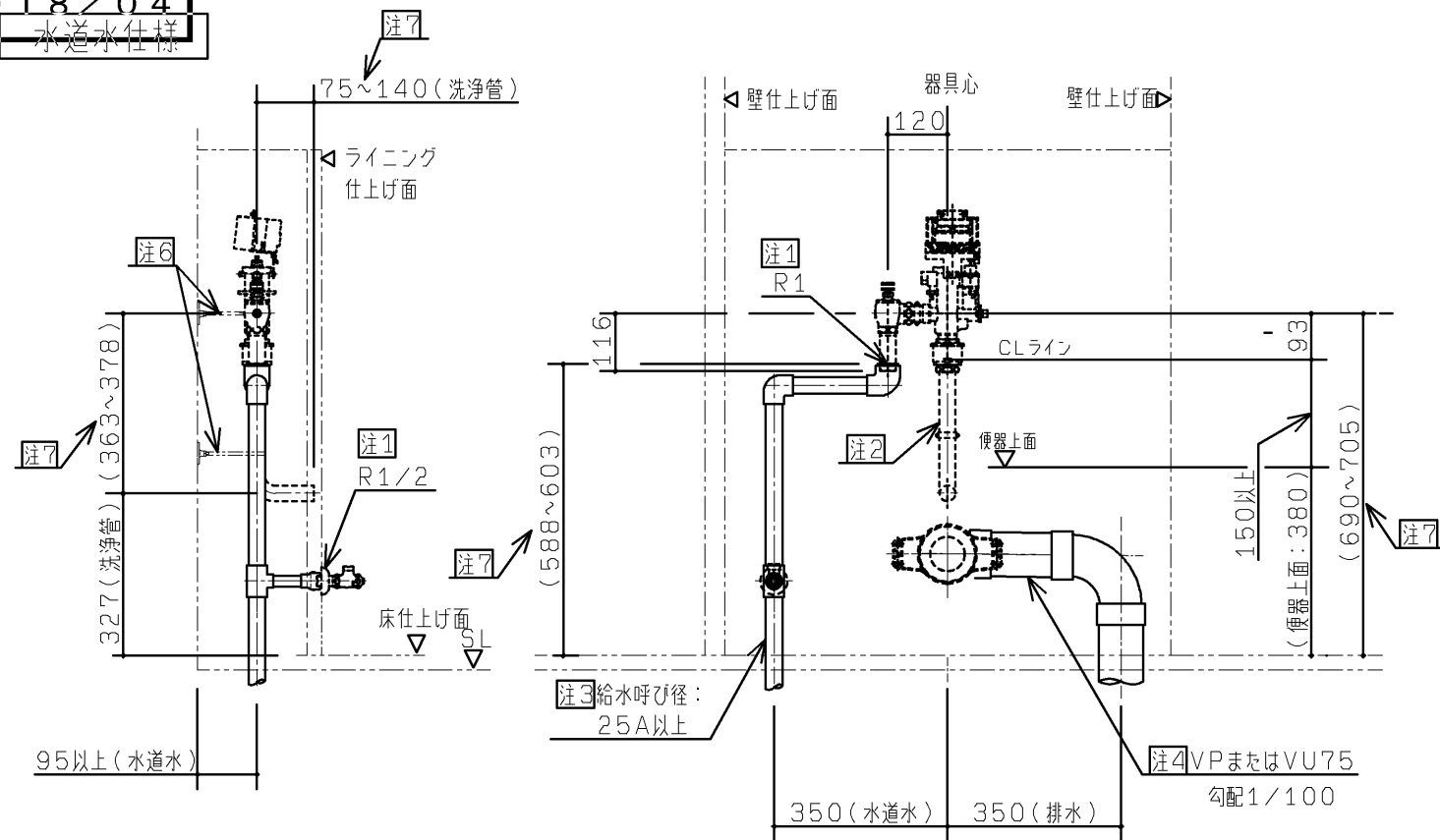


生産中止図面（単独配管）

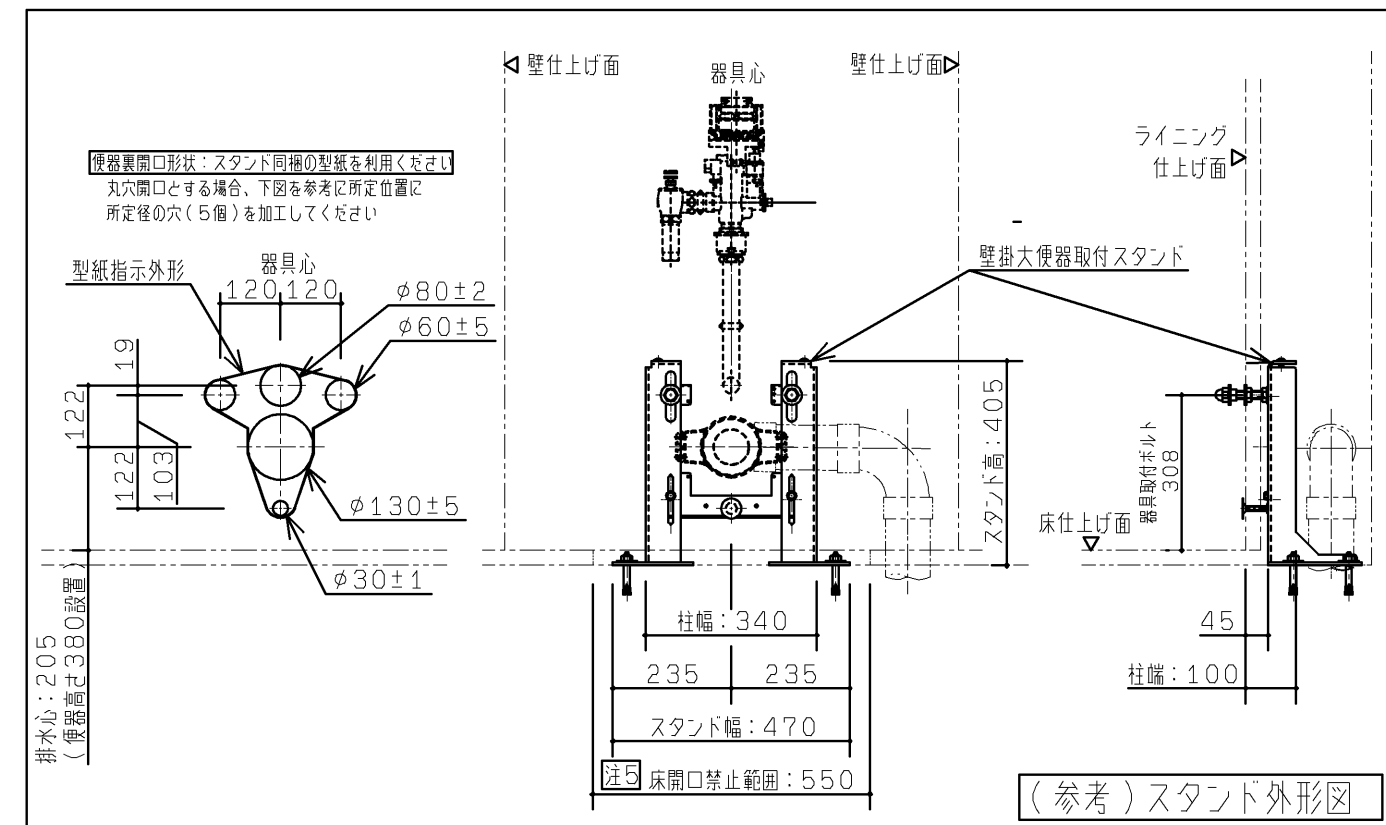
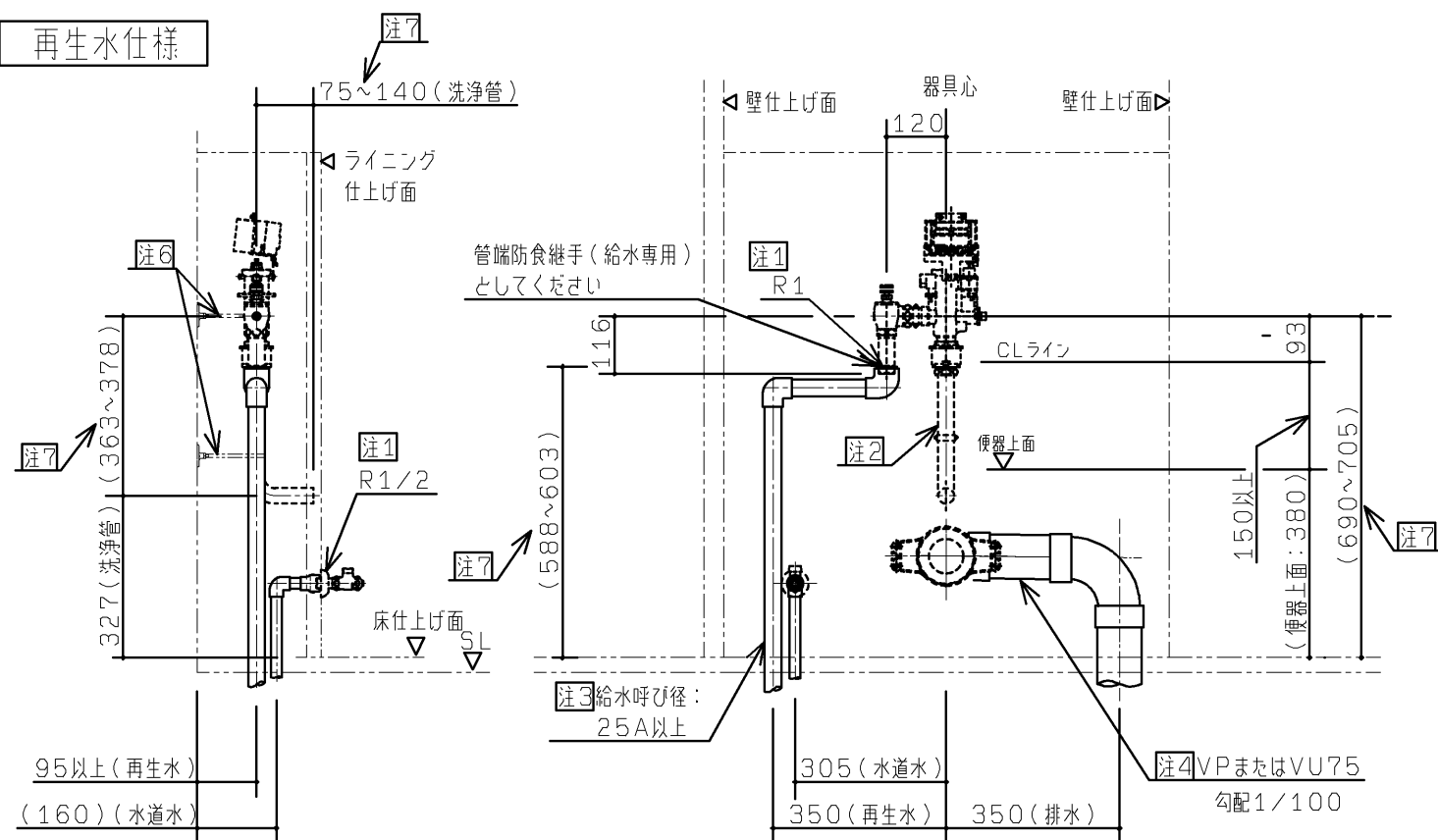
2018/04
水道水仕様



- 本図は、配管設置の一事例を示す参考図です。
使用する配管材によっては納まらないこともあります
ので、その際は立上げ位置を再設定してください。
- 注1：銅管以外と接続の場合、必ず絶縁継手を使用してください。
注2：洗浄管：φ31.75 (自動フラッシュバルブに含まれます)
注3：フラッシュバルブ用の給水管径は25A以上としてください。
注4：排水は末端の呼び径75で準備ください。
注5：配管の立ち上げは、床開口禁止範囲
(スタンドのベースプレートの周囲40mmの範囲)を
避けた位置から取り出してください。
注6：自動フラッシュバルブ本体及び、洗浄管を躯体又は
LGSなどから支持を必ず取ってください。
参考：カクタイ (品番：2211・2216) 相当品
注7：フラッシュバルブ同梱洗浄管の長さの範囲で接続可能範囲を
示しています。

注：給水には最低必要水压 (流動時) 0.07MPaを確保して
ください。(最高水压 (静止時) 0.75MPa)
注：壁掛大便器取付スタンドの外形図を参考に、スタンドを避ける
位置に配管を立ち上げてください。

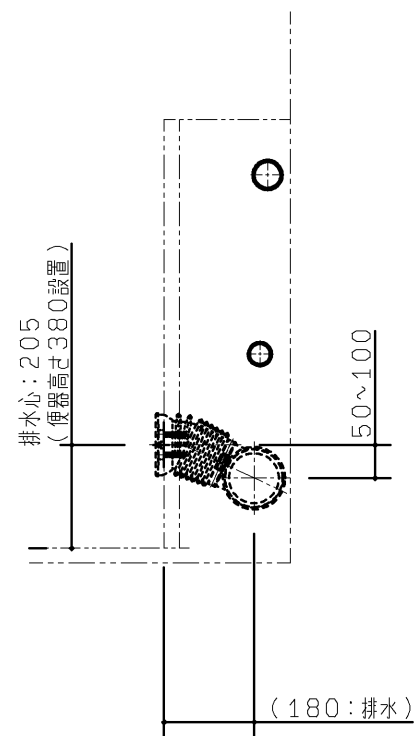
再生水仕様



※壁掛大便器専用ライニングに設置する場合はWL給水取り出し位置が
異なりますので、壁掛大便器専用ライニング商品図を参照してください。

TOTO			第三角法		単位 mm	名称 壁掛6L大便器セット事前施工情報	
製図 加瀬	検図 堤坂口	日付 15. 02. 27	尺度 1:15	品番 UAXC=24			
備考 設備工事（単独配管）（1／3）				図番 UAXC=24			

水道水仕様



注1：銅管以外と接続の場合、必ず絶縁継手を使用してください。

注2：洗浄管：φ31.75（自動フラッシュバルブに含まれます）

注3：フラッシュバルブ用の給水管径は25Aとしてください。

注4：排水は末端の呼び径100で準備ください。

注5：ライニング内から配管床抜きする場合は床開口禁止範囲（スタンドのベースプレートの周囲40mmの範囲）を避けた位置から取り出してください。

注6：自動フラッシュバルブ本体及び、洗浄管を躯体又はLGSなどから支持を必ず取ってください。

参考：カクダイ（品番：2211・2216）相当品

注7：フラッシュバルブ同梱洗浄管の長さの範囲で接続可能範囲を示しています。

注8：通気管と汚水管の接続は水上側の器具間で接続してください。詳細は（3/3）参考図面を参照してください。

注9：給水管呼び径は連数に応じて都度設計してください。1連横引きの場合は、呼び径は25A以上としてください。

注：給水には最低必要水压（流動時）0.07MPaを確保してください。（最高水压（静止時）0.75MPa）

注：壁掛大便器取付スタンドの外形図を参考に、スタンドを避ける位置に配管を立ち上げてください。

再生水仕様

140以上
45 (通気管)

75~140 (洗浄管)

注6

注7

仕上面

注1 R1

327 (洗浄管) (363~378)

床仕上面

SL

50 (水道水)

60 (再生水)

注7

注1 R1

116

740~880 (通気管)

385~460 (再生水)

270~300 (水道水)

注3 給水呼び径: 25A

注4 VPまたはVU100 勾配1/100

305 (水道水)

器具心

壁仕上面

120 120

注8 通気管50A

注9 VLP32A以上

CLライン 93

便器上面

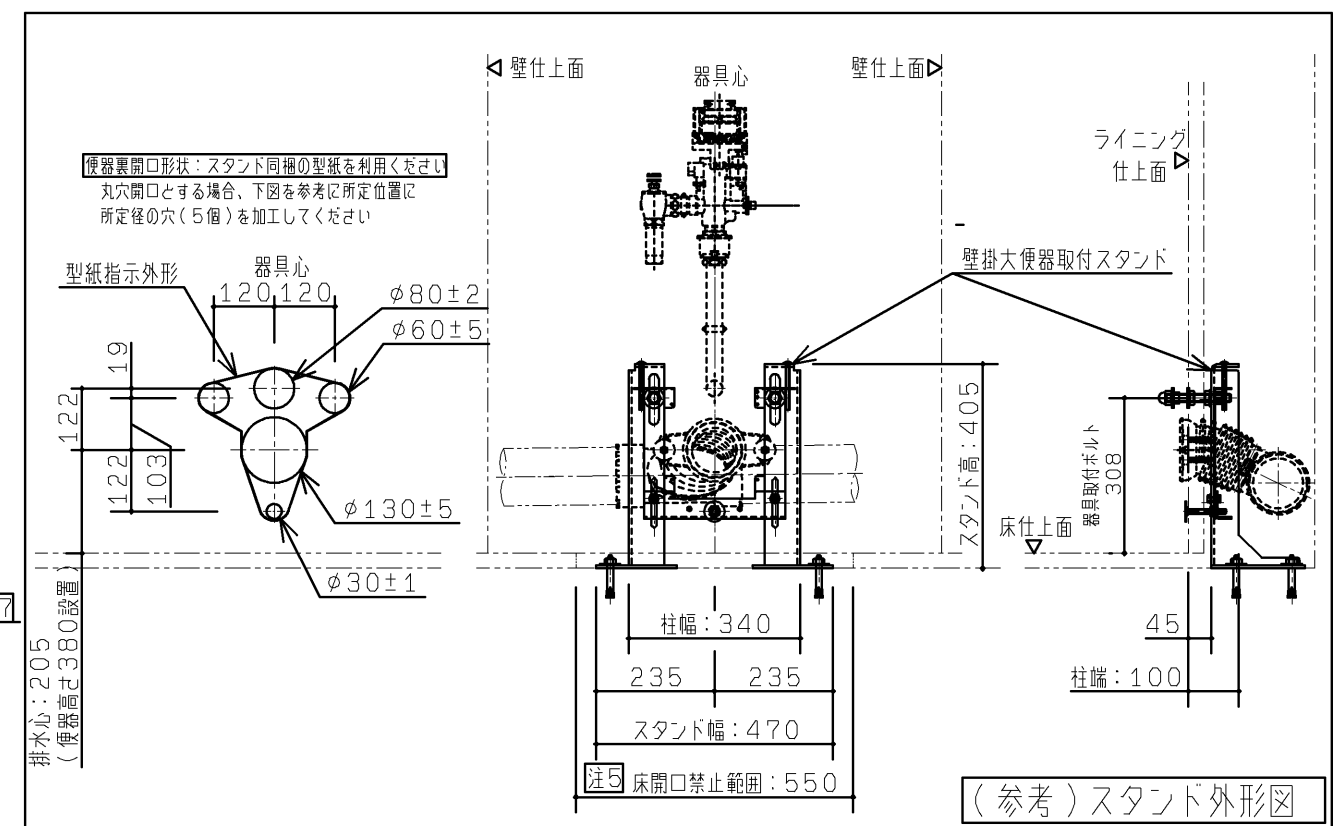
150以上

(便器上面: 380)

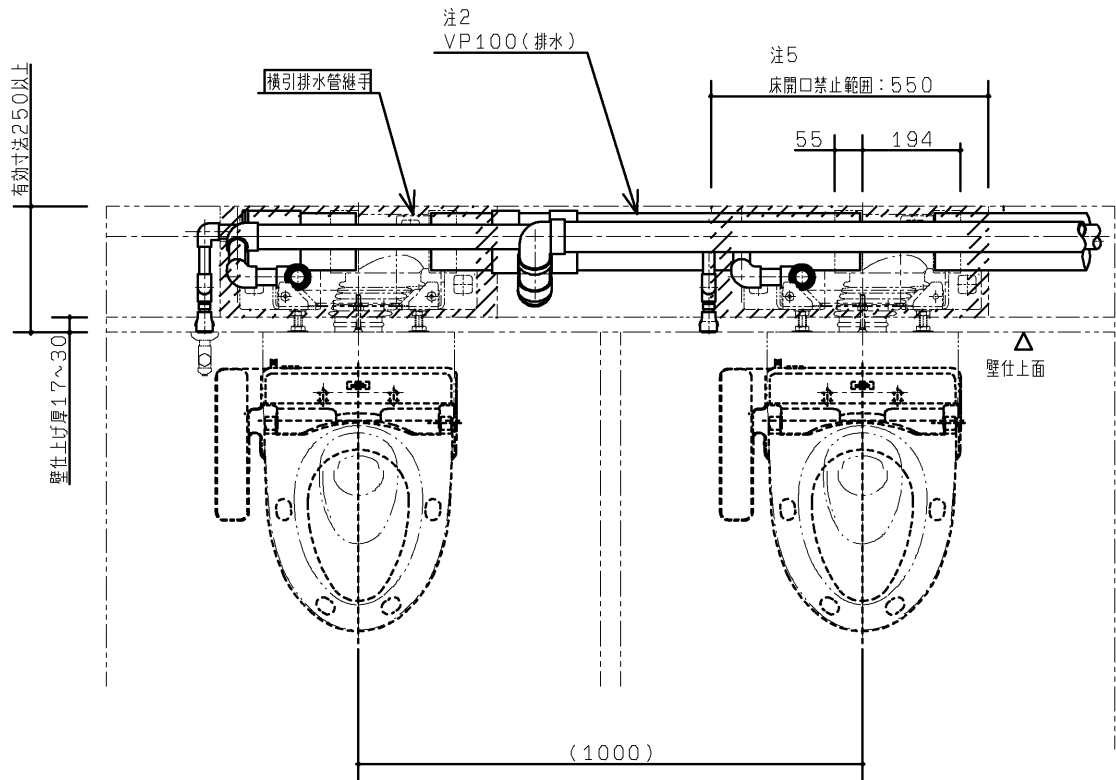
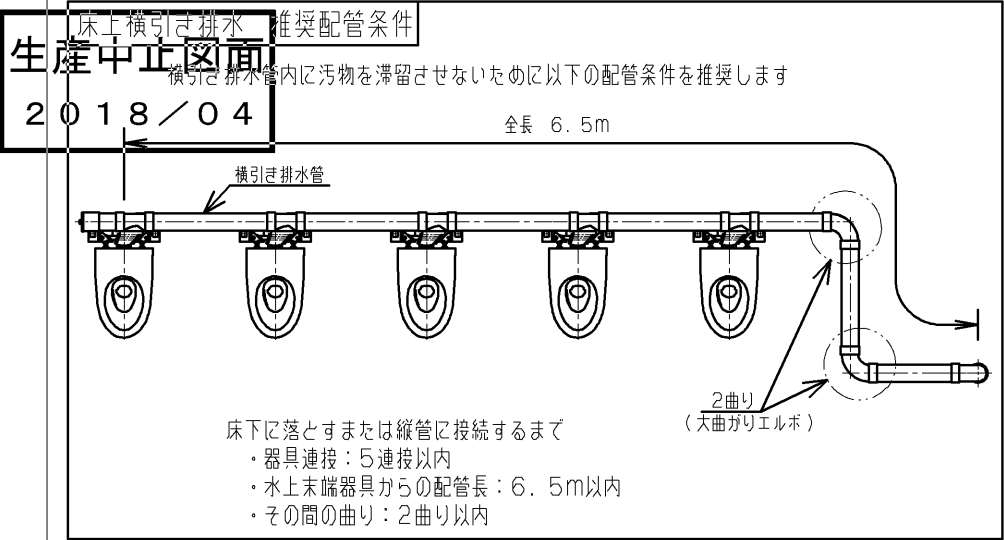
(690~705)

注7

VLP20A



TOTO		第三角法	単位 mm	名称 壁掛6L大便器セット事前施工情報
製図 加瀬	検図 堤坂 口	日付 15. 02. 27	尺度 1 : 15	品番 UAXC=25
備考 設備工事（横引配管）（2 / 3）				図番 UAXC=25



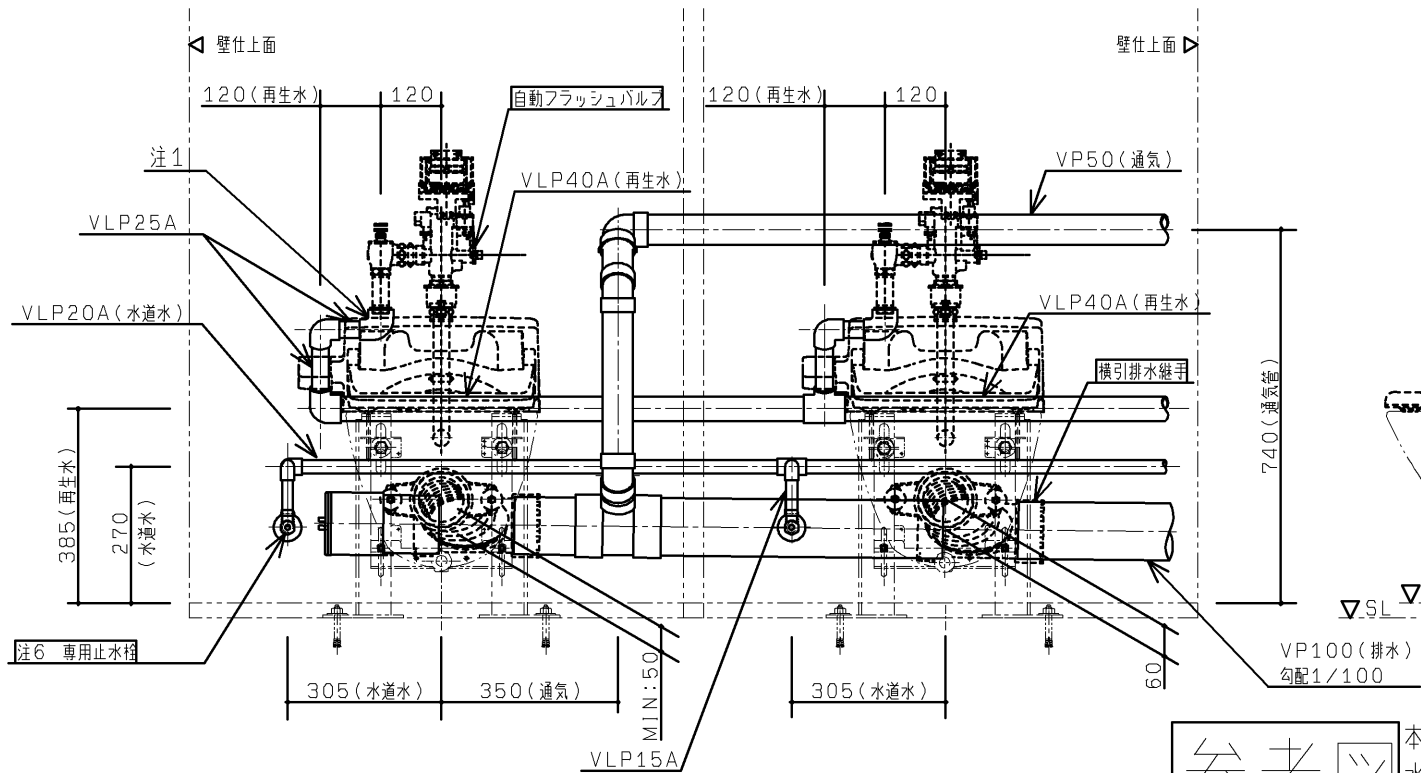
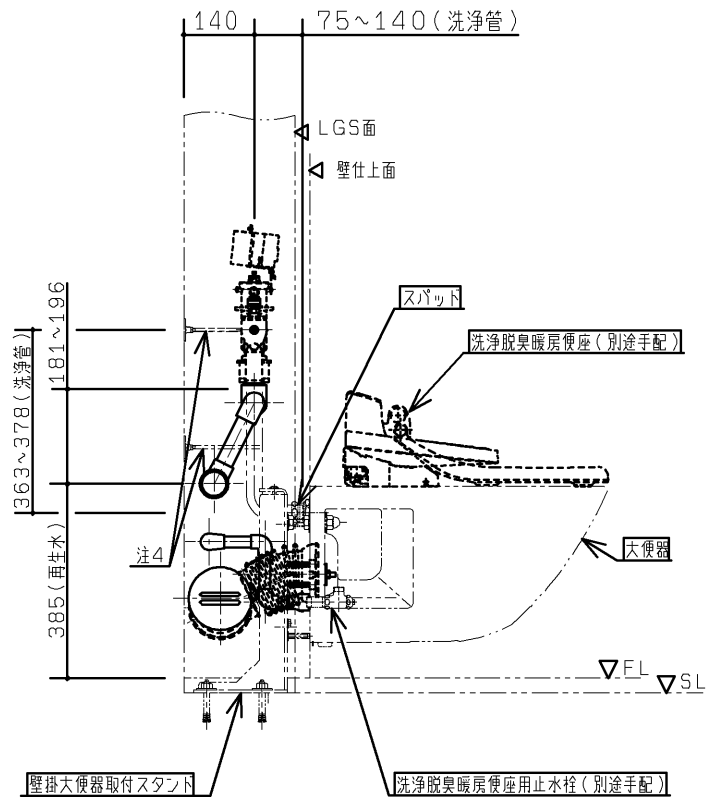
◆排水管を床上横引きする場合、器具は1系統
5連投までとしてください。

◆配管は躯体又はLGSなどに固定してください。

※ 部に配管が位置しないようにしてください

◆壁掛大便器取付スタンド のベースプレート周囲40mmの範囲を
避けた位置から配管を取出してください。
この範囲内に床コンクリートの開口や欠損があるとアンカーボルトの
必要強度が得られません。

- 注1：銅管以外と接続の場合、必ず絶縁継手を使用してください。
注2：排水管は順勾配1/100を確実に確保してください。
注3：通気管はあふれ縁から150mm以上上方で、通気立管と接続してください。
注4：自動フラッシュバルブ本体及び、洗浄管を躯体又はLGSなどから支持を
必ず取ってください。
参考：カクダイ(品番：2211・2216)相当品
注5：ライニング内から配管床抜きする場合は床開口禁止範囲
(スタンドのベースプレートの周囲40mmの範囲)を
避けた位置から取り出してください。
注6：ねじサイズR1/2(温水便座を使用する場合)
銅管以外と接続の場合、必ず絶縁継手を使用してください。
注：給水には最低必要水圧0.07MPa(流動時)を確保してください。
(最高水圧0.75MPa)
注：必要に応じて防火区画貫通部処理を行ってください。



参考

本図面は再生水仕様での事例になります。
水道水仕様の場合は、本図を参考に設計してください。
WL用の横引き配管は必要ありません。

※壁掛大便器専用ライニングに設置する場合はWL給水取り出し位置が
異なりますので、壁掛大便器専用ライニング商品図を参照してください。

TOTO		第三角法	単位 mm	名称 壁掛6L大便器セット床上横引き配管例	
製図 加瀬	検図 堤坂口	日付 15. 02. 27	尺度 1 : 15	品番 UAXC=26	
備考 設備工事（横引き配管）（3 / 3）				図番 UAXC=26	